

平成 30 年度

水内荘の概要



社会福祉法人 長野県社会福祉事業団 水内荘

〒389-1105 長野県長野市豊野町豊野2230

TEL 026-257-2194

FAX 026-257-4744

E-mail minochi21@gold.ocn.ne.jp

HP <http://www.minochi.nagano-swc.com/>

【目 次】

1 沿革と組織概要

- (1) 概要
- (2) 沿革
- (3) 組織と職員構成
- (4) 運営方針
 - ア 長野ブロック事業所運営イメージ
 - イ 長野ブロック運営方針
 - ウ 水内荘運営方針
- (5) 利用サービスの内容
- (6) 平成 30 年度水内荘年間行事計画

2 利用者の状況（平成 30 年 4 月 1 日現在）

◇施設入所支援

- (1) 定員と現在員
- (2) 援護主体の状況
- (3) 在所期間の状況
- (4) 年齢構成
- (5) 重複障害の状況
- (6) 障害支援区分別人員

◇生活介護事業

- (1) 定員と現在員
- (2) 援護主体の状況
- (3) 年齢構成
- (4) 重複障害の状況
- (5) 障害支援区分別人員

1 沿革と組織概要

(1) 概要

水内荘は、昭和37年9月に県内初、全国でも6番目の知的障がい者の入所施設(70名)としてスタートしました。開所当初から地域との関係を大切にしつつ利用者の社会復帰に向けた支援をしてきました。「援農」と称して農繁期には地元農家の手伝いに出たり、町民運動会や文化祭などの町内行事にも積極的に参加しました。平成8年からは長野圏域で初となる共同住居も町内に開設、以降も「施設から地域へ」を合言葉に地域生活移行を積極的に推し進め、平成23年には入所定員を40名に減員、共同住居も14箇所となりました。現在利用者の高齢化や建物の老朽化等により共同住居は12箇所となり、61名の利用者が地域で生活しています。

これからの水内荘の課題としては、利用者の高齢化に伴う身体や認知機能の低下への対応、障害特性に配慮したより専門性の高いサービスの提供等が挙げられます。

行政や障害福祉サービス事業所、NPO法人等関係機関と一段と連携、協力しながら利用者支援に邁進したいと思います。

設置・運営	社会福祉法人 長野県社会福祉事業団			
所在地	長野県長野市豊野町2230			
敷地面積	19,769.49㎡			
	県有地(借地)	所有地		
	19,241.49㎡	528.0㎡		
		畑地	畑地	雑種地
	122.0㎡	303.0㎡	103.0㎡	
建物	3,115.65㎡			
	管理棟、居住棟(鉄骨・鉄筋コンクリート造 平屋建)	2,193.26㎡		
	体育館(鉄骨造 2階建)	368.37㎡		
	作業棟(鉄筋コンクリートブロック造 平屋建)	284.89㎡		
	第2作業棟(鉄骨造 平屋建)	139.96㎡		
	車庫(鉄骨造 平屋建)	89.60㎡		
	物置(鉄骨造 平屋建)	79.57㎡		
サービス事業・ 利用定員	居住系サービス	日中系サービス		
	施設入所支援	短期入所支援	生活介護	
	40名	6名	60名	

(2) 沿革

昭和37年	9月25日	上水内郡福祉組合が水内荘を設置(定員70名)
40年	4月11日	長野県社会福祉事業団に経営移管
60年	8月6日	移転改築
平成4年	5月1日	通所事業開始(定員10名)
	8年5月1日	共同住居「伊豆毛の家」開設(定員4名)
	11年5月1日	通所定員増(12名)
	12年10月1日	共同住居「中尾の家」開設(定員5名)
	13年10月1日	障害児(者)地域療育等支援事業開始
	15年10月1日	自活訓練事業開始(自活訓練棟「はばたき」開設)
	16年4月1日	通所定員増(19名)
		自活訓練棟「本町の家」開設
	10月1日	共同住居「立町ホーム」開設(定員4名)

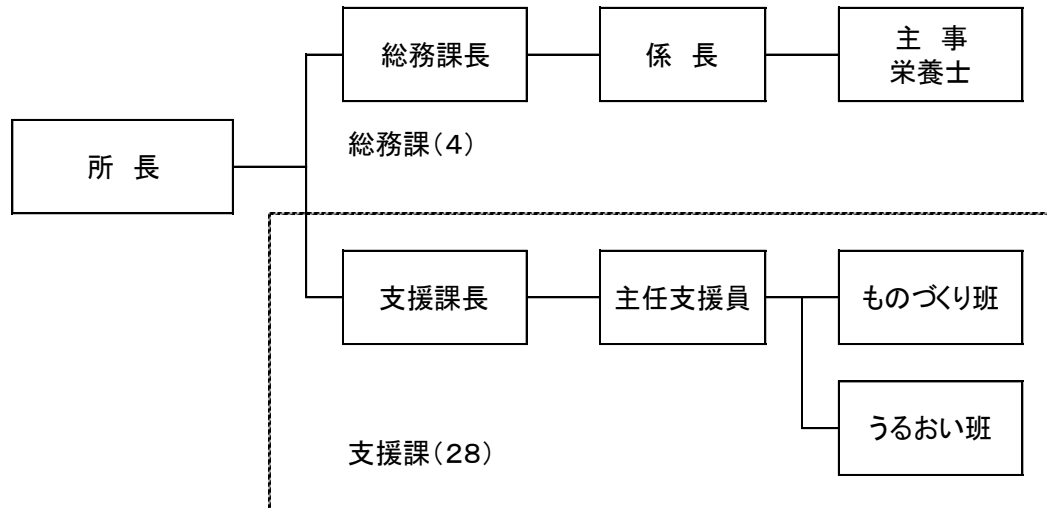
17年	1月	1日	長野市より「豊野こぶし共同作業所」委託
	3月	1日	共同住居「相之島ホーム」開設（定員4名）
	3月	10日	食堂及び通所利用者用ディルーム増築工事完了 100.78㎡増 通所定員増（27名）
	4月	1日	自活訓練棟「本町の家」共同住居へ移行（定員6名）
	5月	1日	「水内荘基本構想」策定
	10月	1日	共同住居「鷲寺ホーム」開設（定員5名）
18年	4月	1日	共同住居「南郷の家」開設（定員5名）
19年	4月	1日	入所定員減(60名)
20年	3月	28日	作業棟改築工事完了（障害者自立支援基盤整備事業）
23年	1月	1日	新事業体系移行（「知的障がい者援護施設水内荘」から「水内荘」に改称） 施設入所支援事業所（定員42名） 短期入所事業所（定員6名） 生活介護事業所（定員68名）
	7月	1日	施設入所支援事業所定員減（40名）
24年	6月	29日	水内荘大規模改修工事終了
	9月	8日	水内荘創立50周年記念感謝祭開催
25年	1月	1日	一般・特定相談支援事業所の指定を受ける
	3月	4日	第2作業棟竣工
28年	5月	1日	生活介護定員減（60名）

<関連事業所の沿革>

平成	16年	4月	1日	長野圏域障害者総合支援センター「歩楽里」開設
	18年	4月	1日	通所授産施設「八雲作業所」開設（定員20名）
		10月	1日	水内荘グループホーム・ケアホームセンター開設
		12月	1日	共同住居「高木ホーム」開設（定員4名）
	19年	4月	1日	「八雲日中活動総合センター」開設（定員20名） 共同住居「栗原ホーム」開設（定員4名）
		5月	29日	長野圏域障害者総合支援センター「歩楽里」移転
		12月	1日	共同住居「ドマーニ小嶋」開設（定員6名）
	21年	12月	12日	共同住居「コーポやまなみ」開設（定員6名）
	23年	1月	1日	「八雲日中活動総合センター」新事業体系移行（「八雲日和」に改称） 共同住居「服部ハイツ」開設(定員6名)
	24年	2月	1日	共同住居「あさのホーム」開設(定員5名)
		4月	1日	就労移行支援事業所「小春日和」開設(定員20名) 「豊野こぶし共同作業所」が長野市の委託から指定管理となり、 「長野市地域活動支援センターこぶし」に改称
		7月	1日	共同住居「伊豆毛の家」移転
	25年	1月	1日	歩楽里にて一般・特定・児童相談支援事業所の指定を受ける
		4月	1日	「水内荘グループホーム・ケアホームセンター」が「みのちグループホームセンター」に改称
	26年	4月	1日	社会福祉法人豊智福祉会より共同住居「りんごの木」（定員7名）を無償貸与される。 八雲日和の自立訓練事業（定員6名）を廃止する。 小春日和に就労移行継続事業所（定員10名）を開設

28年 4月18日 長野圏域障害者総合支援センター「歩楽里」が「歩楽里」に改称
 29年 12月21日 八雲日和就労継続B「うどん・おやき工房 さくら」として移転
 30年 3月23日 共同住居「相之島ホーム」閉鎖
 共同住居「鷲寺ホーム」閉鎖

(3) 組織と職員構成



平成30年度職員数

(単位:人)

管理者	サービス管理 責任者	支援員等	看護師	栄養士	相談支援 専門員	ハウス キーパー等	合計
1	1	25	2	1	(4)	3	33

*相談支援専門員は兼務

*看護師のうち、1名支援員兼務

(4) 運営方針

事業団では、事業所設置地域におけるより質の高いサービス提供とより効率的な経営を図るために、平成23年度より「ブロック制」(5ブロック)を導入し、長野圏域にある当所を含む6事業所で「長野ブロック」を構成し、ブロック運営を進めています。

ア 長野ブロック事業所運営イメージ

～ 児童から高齢者まで、その人らしい暮らしのお手伝い ～

長野ブロックのある北信濃は、長野県の北、善光寺平に位置し、四季折々の景色が楽しめます。春には花、夏には緑、秋は実り、冬は山々を覆う雪が自然の営みを強く感じさせ、各地の温泉もまた自然の豊かさを教えてくれます。

当ブロックは、善光寺平の北、長野市豊野町に6事業所すべてがあります。水内荘が入所利用者の地域生活以降を積極的に推し進める形で事業を拡大した結果、事業所間が2 km以内とコンパクトにまとまっています。近距離にあることの利便性を活かし、連携・協働して児童から高齢者まで、幅広い年代の利用者支援に当たります。

イ 長野ブロック運営方針

(ア) それぞれの年代や障がい特性に配慮し、利用者の思いに寄り添ったサービスを提供します。

- (イ) 積極的に実習生を受入れて福祉の仕事の魅力を伝え、研修等職員育成の必要性を職員の共通認識としていきます。
- (ウ) ブロック内事業所や他法人と連携・協力しながら利用者の生活を支えると共に、地域から求められる役割を果たしていきます。
- (エ) 安定した経営に向けて実施事業を見直し、地域共生社会を意識した事業の統廃合・新設を図ります。
- (オ) ブロック内事業所が近距離にあるメリットを生かし、緊急時の対応等応援体制を継続します。

ウ 水内荘運営方針

利用者、家族の要望に合わせた支援を行うことにより、安心、安定した日常生活を送れるようにします。

- (ア) 利用者の心身の状況に応じた生活ができるよう支援します。
- (イ) 常に利用者の健康保持に努めます。
- (ウ) 地域の社会資源として、地域住民に体育館や陶芸窯を開放し、地域のボランティア等と積極的に交流します。
- (エ) 短期入所事業を中心として、在宅障がい者や家族を支援します。
- (オ) 隣接の泉平ハイツ等と連携・協力して介護保険への移行や障がい福祉サービスと介護保険のサービスの併用に備えます。
- (カ) NPO 法人「豊野結いの会」と連携・協力して利用者の財産管理、権利擁護に努めます。

(5) 利用サービスの内容

課名	事業名	事業内容	
総務課		会計事務の他、水内荘の庁舎・公用車等の管理を行います。また、新規事業や建物の新設・改修等の企画・立案・進行管理を行います。さらに、長野ブロック内事業所総務課の統括も行います。	
支援課	施設入所支援	主に、夜間と土日祝日（昼間）の支援を行います。また、障害者支援施設として生活介護（日中支援）と一体的な支援を行います。	
	短期入所	一時的・短期間（1泊2日等）の入所希望者を受入れます。また、市町村等からの依頼による緊急一時保護ケースも、可能な限り受入れます。	
	日中活動支援	生活介護	利用者ニーズを把握し、個別支援計画に沿った質の高いサービス提供に努めます。
			ものづくり班
		レクリエーション班	○軽スポーツ、レクリエーション活動、リハビリ訓練 ○音楽療法、創作活動等 ○季節行事

		全体活動	○健康体操、ストレッチ運動、軽スポーツ、散歩、散策等 ○買い物外出等 ○入浴サービス（週3回） ○OPT(理学療法士)による体幹機能の評価・生活リハビリ訓練の実施
相談支援	指定一般相談	障害者支援施設や精神病院等に入院している障がい者やご家族からの依頼を受けて、地域移行のお手伝いをします。また、地域移行した方や地域で一人暮らしをしている方の様子を確認し、地域で安心、安定した暮らしが継続できるようお手伝いします。	
	指定特定相談	障害福祉サービスの利用を希望するすべての障がい者やご家族からの依頼を受けて、サービス等利用計画を作成します。	

(6) 平成30年度水内荘年間行事計画

月	日	曜日	行事名
4	2	月	着任式
	21	土	保護者会環境整備（フ）
	26	木	旅行①
5	29	火	旅行②
6	7	木	防災・消火訓練
	16	土	保護者会環境整備（フ）
	28	水	旅行③
7	14	土	全体研修（団）
	20	金	泉水祭り（フ）
8	4	土	全体研修（団）
9	6	木	旅行④
	15	土	保護者会環境整備（フ）
	27	木	旅行⑤
	9月中		通報訓練
10	27	土	保護者会合同研修
	10月中		泉平地区・ハイツ・水内荘合同防災訓練
11	10	土	保護者会環境整備（フ）
	29	木	避難誘導・通報・消火訓練
12	4	火	うるおい班忘年会
	6	木	ものづくり班忘年会
1	10	木	餅つき・還暦祝い
3	中旬予定		保護者総会（フ）
	29	金	離任式

*（フ）：長野ブロック事業

（団）：事業団事業

2 利用者の状況（平成30年4月1日現在）

◇施設入所支援

(1) 定員と現在員 (単位：人)

区 分	現 員		
	男	女	計
40	20	20	40

(2) 援護主体の状況 (単位：人、%)

区 分	市 町 村 別				地 域 別					
	市	町	村	計	北信	東信	中信	南信	県外	計
人 員	29	5	6	40	33	1	2	3	1	40
構成比	72.5	12.5	15.0	100.0	82.5	2.5	5.0	7.5	2.5	100.0

(3) 在所期間の状況 (単位：人、%)

区 分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上	計	平均
人 員	12	3	7	5	3	3	7	40	17.1年
構成比	30.0	7.5	17.5	12.5	7.5	7.5	17.5	100.0	

(4) 年齢構成 (単位：人、%)

区 分	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	計	平均年齢
人 員	4	3	13	4	10	5	1	40	53.3歳
構成比	10.0	7.5	32.5	10.0	25.0	12.5	2.5	100.0	

(5) 重複障がいの状況 (単位：人)

区 分	身 体 障 害			精 神 障 害		延べ人員	実人員
	肢体不自由	聴 覚	視 覚	てんかん	その他の 精神疾患		
人 員	3	1	2	20	3	29	26

(6) 障害支援区分別人員 (区分：人、%)

区 分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均
人 員	0	0	1	15	20	4	4.8
構成比	0.0	0.0	2.5	37.5	50.0	10.0	100.0

◇生活介護事業

(1) 定員と現在員

(単位：人)

区 分	現 員		
	男	女	計
60	29	28	57

(2) 援護主体の状況

(単位：人、%)

区 分	市 町 村 別				地 域 別					
	市	町	村	計	北信	東信	中信	南信	県外	計
人 員	42	8	7	57	46	1	5	4	1	57
構成比	73.7	14.0	12.3	100.0	80.8	1.7	8.8	7.0	1.7	100.0

(3) 年齢構成

(単位：人、%)

区 分	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	計	平均年齢
人 員	3	3	14	6	17	12	2	57	58.4 歳
構成比	5.3	5.3	24.6	10.5	29.8	21.0	3.5	100.0	

(4) 重複障がい状況

(単位：人)

区 分	身 体 障 害			精 神 障 害		延べ人員	実人員
	肢体不自由	聴 覚	視 覚	てんかん	その他の精神疾患		
人 員	3	4	2	20	6	35	29

(5) 障害支援区分別人員

(区分：人、%)

区 分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	平均
人 員	0	1	16	17	19	4	4.16
構成比	0.0	1.8	28.1	29.8	33.3	7.0	100.0

H30.4.1 版